

## 第一工業製薬グループ 環境方針

第一工業製薬グループは、社是である「産業を通じて、国家・社会に貢献する」のもと、より良い地球環境と社会との共生を実現するために、以下の継続的な環境の保護と改善活動に取り組んでまいります。

### 1. 適用範囲

本方針は、当社グループの役員と全従業員（正社員、契約社員、派遣社員を含むすべての従業員）に対して適用されます。また、当社グループの企業活動に関わるビジネスパートナー（取引先、および当社グループの事業、製品またはサービスに直接関わる他の関係者）や地域社会と連携し、環境負荷低減の取り組みを推進します。

### 2. 第一工業製薬グループにおける重要な環境課題

当社グループは、工業用薬剤の開発・製造・販売を担う企業として、その事業活動が地球環境に与える影響を深く認識しています。

持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の項目を特に重要な環境課題として特定し、環境マネジメントシステムに基づき、環境パフォーマンスの継続的な改善と環境負荷の低減に努めます。

- (1) エネルギー使用の効率化を推進し、エネルギー使用量の削減を目指すとともに、再生可能エネルギーの導入を推進します。
- (2) 温室効果ガス（GHG）排出量の削減を推進し、気候変動の影響の緩和に取り組みます。
- (3) 水資源の効率的な使用を推進し、水使用量の削減を進めていきます。
- (4) 生物多様性への影響を最小限に抑えることを推進します。
- (5) 法令及び規則等に則り、化学物質を適正に管理・廃棄します。
- (6) 環境汚染物質の削減を推進します。環境問題の原因となる有害な化学物質の使用を削減し、大気、水質、土壌の汚染を防止するための対策を講じます。
- (7) 廃棄物の削減を推進し、リサイクル可能な資材の使用を促進します。
- (8) 効率的な資源使用を推進します。再生可能な原材料やリサイクル可能な原材料を積極的に使用し、資源使用の効率を高めます。

### 3. 製品のライフサイクルを通じた責任

当社グループは、「製品の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたり、人の安全と健康および環境の保全に配慮し、持続的発展と豊かな社会の実現に貢献する。」を環境・安全に関する基本理念として掲げ、レスポンシブル・ケア活動を推進します。

- (1) 製品使用時の環境負荷を最小限に抑えるよう配慮し、効率的な利用方法に関する情報をお客様へ提供します。
- (2) 使用済み製品による環境負荷を低減するため、製品の回収・リサイクルに関する取り

組みを推進します。廃棄物化を防ぐ設計を強化するとともに、適正な処理・循環利用を促進します。

- (3) 製品の安全性評価を徹底し、関連法規制を遵守します。有害物質の情報開示を適切に行い、お客様の健康と安全を守ります。省エネルギーや水資源の節約に貢献する環境負荷の少ない製品・サービスの開発を強化し、持続可能な消費活動を促進します。

#### 4. 法令遵守

環境保全に関する国際的な宣言、規約、条約、ならびに事業展開している国と地域の法規制及びその他当社の合意した事項を遵守します。

- (1) 事業活動に関する環境法規制を遵守し、環境許可を取得、維持します。
- (2) 重大な環境事故を防ぐため、リスク管理体制を強化します。

#### 5. 推進体制

当社グループは、取締役会の監督のもと、本方針に基づいた環境に関する取り組みを推進します。

サステナビリティ推進のための中核組織として「サステナビリティ委員会」を設置し、環境に関する戦略や目標・計画の策定、活動の推進や進捗確認を行い、その結果を経営会議メンバーで構成される「サステナビリティ会議」に定期的に報告し、環境に関する重要事項の意思決定を行います。さらに、取締役会へ定期的に報告し、戦略や目標、計画の継続的な見直しを実施します。

#### 6. コミュニケーション

当社グループは、環境に関する情報開示を積極的に行い、お客様や投資家をはじめとしたあらゆるステークホルダーとの対話を推進します。

また、本方針を当社グループの役員及び全従業員に周知すると共に、適切な教育・研修を実施します。

本方針は、2025年12月の取締役会で承認されています。

2025年12月24日  
第一工業製薬株式会社  
代表取締役社長 山路 直貴